



総合学術調査報告書発刊に寄せて

神山町長 高橋 宏 輔

この度、阿波学会による神山町総合学術調査の結果がまとまり、その報告書が発刊される運びとなりました。ここに、心よりお慶びとお礼を申し上げます。

平成11年度に神山町が阿波学会総合学術調査の対象となり、平成11年7月27日に神山町農村環境改善センターにおいて結団式が行われました。

この学術調査は、前回、昭和50年に植生、地質、農業従事者の健康調査、水生昆虫、社寺建築等多岐にわたり調査をいただき大変お世話になっております。今回は、2回目の学術調査で前回はうまわる大規模な調査が炎暑の中、雨中をとわず実施されました。本町全域において阿波学会に属する徳島生物学会、徳島民俗学会、徳島地理学会をはじめ22班編成で「神山町の植生」、「鮎喰川水系の水生昆虫」、「神山の民俗」、「神山町の産業と地域構造」等あらゆる分野について町内くまなく踏査され、学問的に体系づけをしていただきました。

学術調査の中間発表が、12月5日に神山町農村環境改善センターで行われ、神山町の地質、民家をはじめ12項目の調査をスライドや、OHP等の映像機器を通して町民にも分かりやすく報告されました。特に本町では、神山町史の編集にとりかかっているところではありますが、調査の中間報告には町民の皆さんや、執筆者は関心を持たれたことと思います。この中間報告の後さらに研究を深められ、調査の研究成果をまとめられたのが今回の総合学術調査報告書であります。本町としても、今回の総合学術調査報告は、町史編集の上でも神山町の明日を構築していく上においても貴重な資料であります。学術調査が2回実施されたのは神山町だけと聞いております。前回の調査にもう一度目を通し、今回と比較しながら神山町を振り返って見る参考資料として大切に、活用させていただき所存でございます。終わりにになりましたが、ここに、学術調査団の皆様方のご努力とご苦勞に対し深く感謝いたしますとともに、この調査にご協力、ご支援いただきました町民の皆様方に心からお礼申し上げます。そして、阿波学会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方の一層のご活躍をご祈念申し上げまして発刊のお祝いとお礼の言葉といたします。